

## MV-22 オスプレイからの水筒落下事故に対する抗議

令和3年11月23日、米軍普天間基地に所属するMV-22 オスプレイが飛行中に宜野湾市野嵩の民家玄関前へステンレス製の水筒を落下させる事故が発生した。

これまでのところ、けが人や物的損害は確認されていないが、市街地に囲まれ、「世界一危険な飛行場」といわれる普天間基地では、いかなるトラブルであっても人命にかかわる大惨事につながりかねない。

普天間飛行場の所在する宜野湾市を含む中部地域は、米軍機が住宅密集地の上空を飛び交い、常に墜落、落下物の危険にさらされている。今回の落下事故は、改めて「世界一危険な飛行場」を証明するものであり、一刻も早い閉鎖・返還の必要性を強く示すものである。

中部市町村会は、これまでも度重なる米軍機の事故に対し、抗議と再発防止を訴えてきた。これまでの我々の訴えを一顧だにせず、中部地域の住民を不安に陥れている中で、このような事故を発生させたことは断じて許せるものではなく、日米両政府の責任は極めて重いと言わざるをえない。

よって、中部市町村会は、住民の生命、財産、安全及び平穏な生活を守る立場から、米軍及び関係機関に対し厳重に抗議するとともに、米軍に対し、事故原因を明らかにし、確実な再発防止策を講じるよう求める。

令和3年12月3日

沖縄県中部市町村会